

## 平成30年度病害虫発生予報第8号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

## 【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	うどんこ病	やや少	やや少
	褐斑病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	並	並
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	やや多	やや多
	コナジラミ類	並	やや多
	ハモグリバエ類	少	少
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	炭疽病 ( <i>G.cingulata</i> )	少	少
	アブラムシ類	やや少	やや少
	ハダニ類	少	やや少
	ハスモンヨトウ	並	並
	オオタバコガ	並	並
ブロッコリー	黒腐病	少	少
	べと病	並	並
	コナガ	並	並
	ヨトウムシ類	やや少	やや少
	オオタバコガ	やや少	やや少
	アオムシ	やや少	やや少
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	やや少	やや少
	オオタバコガ	並	並
かんきつ	ミカンハダニ	やや少	並

【発生予報】 本文の ( ) 内は平年値

## きゅうり

## 1. うどんこ病

## (1) 予報内容

発生程度 やや少

## (2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(9筆)の結果、発病葉率は1.7%(5.9%)、発生圃場率は33.3%(56.1%)であった。

## 2. 褐斑病

## (1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1 月前期の巡回調査（9 筆）の結果、発生を認めなかった（発病葉率 0.0 2 %、発生圃場率 3.0 %）。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1 月前期の巡回調査（9 筆）の結果、寄生葉率は 0.9 %（0.2 %）、発生圃場率は 1 1.1 %（5.7 %）であった。

4. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1 月前期の巡回調査（9 筆）の結果、寄生葉率は 4.7 %（6.2 %）、発生圃場率は 5 5.6 %（6 6.3 %）であった。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

1 1 月前期の巡回調査（1 0 筆）の結果、発病株率は 0.0 8 %（0.0 1 %）、発生圃場率は 2 0.0 %（3.3 %）であった。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 1 1 月前期の巡回調査（1 0 筆）の結果、寄生葉率は 3.7 %（3.2 %）、発生圃場率は 7 0.0 %（5 4.5 %）であった。

イ 向こう 1 か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ハウス内および周辺の雑草は本虫の生息・増殖源となるので除去し、環境衛生に努める。

イ 発生が多くなってからの防除は困難であるので、黄色粘着トラップを施設内に設置し、早期発見、早期防除に努める。

ウ 薬剤は葉裏の部分にまで十分付着するよう、ていねいに散布する。

エ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤の連用はしない。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

1 1 月前期の巡回調査（1 0 筆）の結果、発生を認めなかった（被害葉率 1.0 %、発生圃場率 2 1.9 %）。

## いちご

### 1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.5%、発生圃場率0.5%)。

### 2. 炭疽病 (*G.cingulata*)

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.02%、発生圃場率8.3%)。

### 3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.6%(1.9%)、発生圃場率は14.8%(26.9%)であった。

### 4. ハダニ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 11月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.1%(3.8%)、発生圃場率は3.7%(29.2%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

### 5. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(27筆)の結果、食害株率は1.8%(2.9%)、発生圃場率は33.3%(38.4%)、寄生株率は0.4%(0.5%)であった。

### 6. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.01%(過去9か年平均0.1%)、発生圃場率は3.7%(同5.6%)であった。

## ブロッコリー

### 1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率3.7%、発生圃場率16.3%)。

2. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(過去10か年平均 発病株率0.1%、発生圃場率0.8%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は8.7%(7.4%)、発生圃場率は66.7%(55.0%)であった。

4. ヨトウムシ類(ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ)

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(12筆)の結果、ハスモンヨトウの発生を認めなかった(寄生株率0.8%、発生圃場率13.5%)。また、シロイチモジヨトウの寄生株率は1.0%(1.3%)、発生圃場率は16.7%(18.8%)であった。ただし平成27年度まではその他ヨトウムシ類で調査を行った。

5. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.7%、発生圃場率14.6%)。

6. アオムシ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率0.4%、発生圃場率6.5%)。

レタス

1. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

2. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率5.8%)。

3. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率0.1%、発生圃場率1.9%)。ただし、平成27年度まではタバコガ類で調査を行った。

かんきつ

1. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 1 1月前期の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は2.3%(6.0%)、発生圃場率は36.1%(53.3%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

【参考】

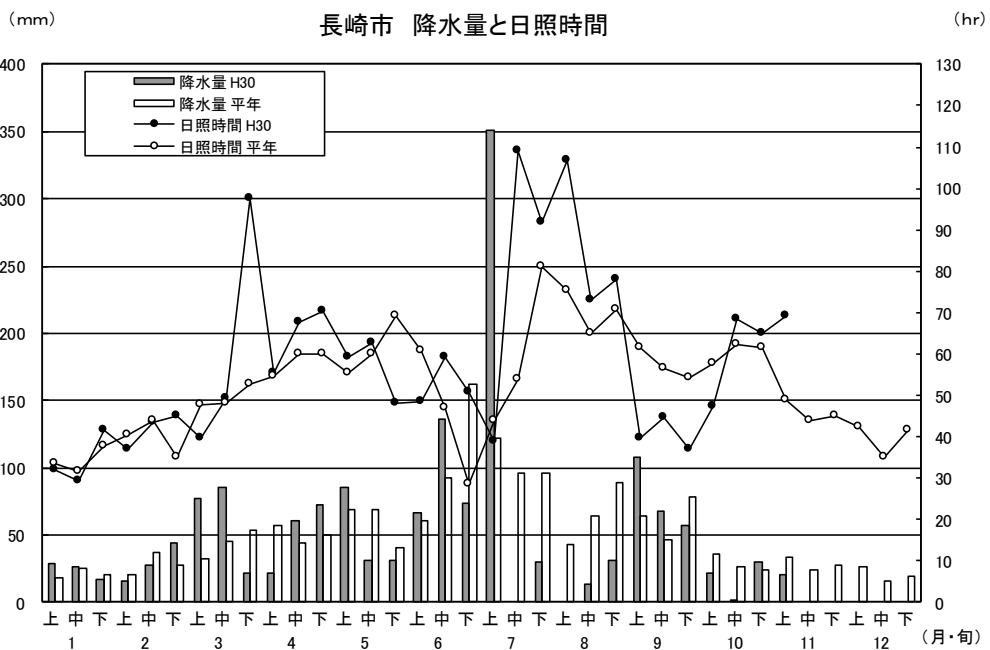
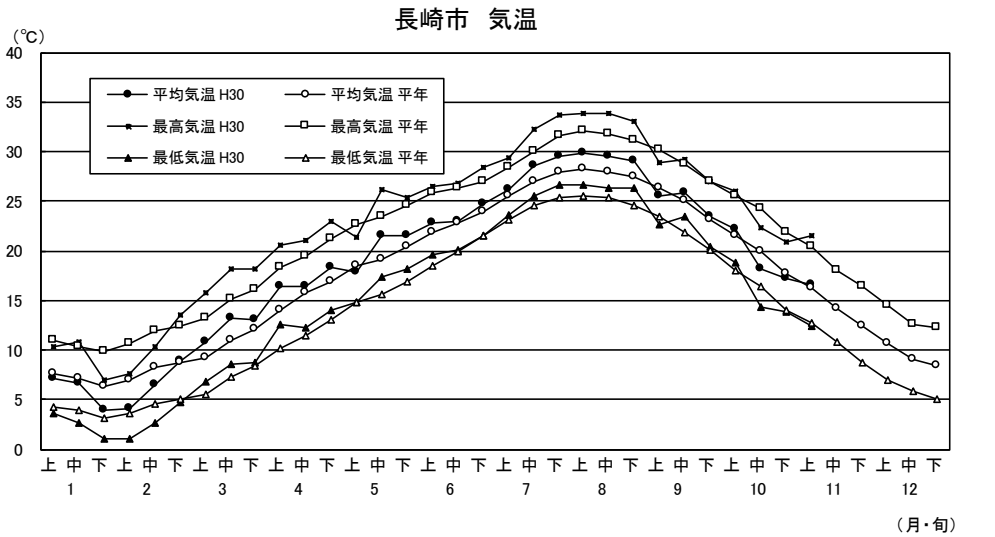
(平成30年11月15日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	20	30	50
降水量	40	30	30
日照時間	30	30	40

※予報対象地域：九州北部地域

平成30年の気象経過 (長崎地方気象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

